

令和5年度

も り
国有林の森林へようこそ



秋と冬の狭間（瀬戸瀬山）



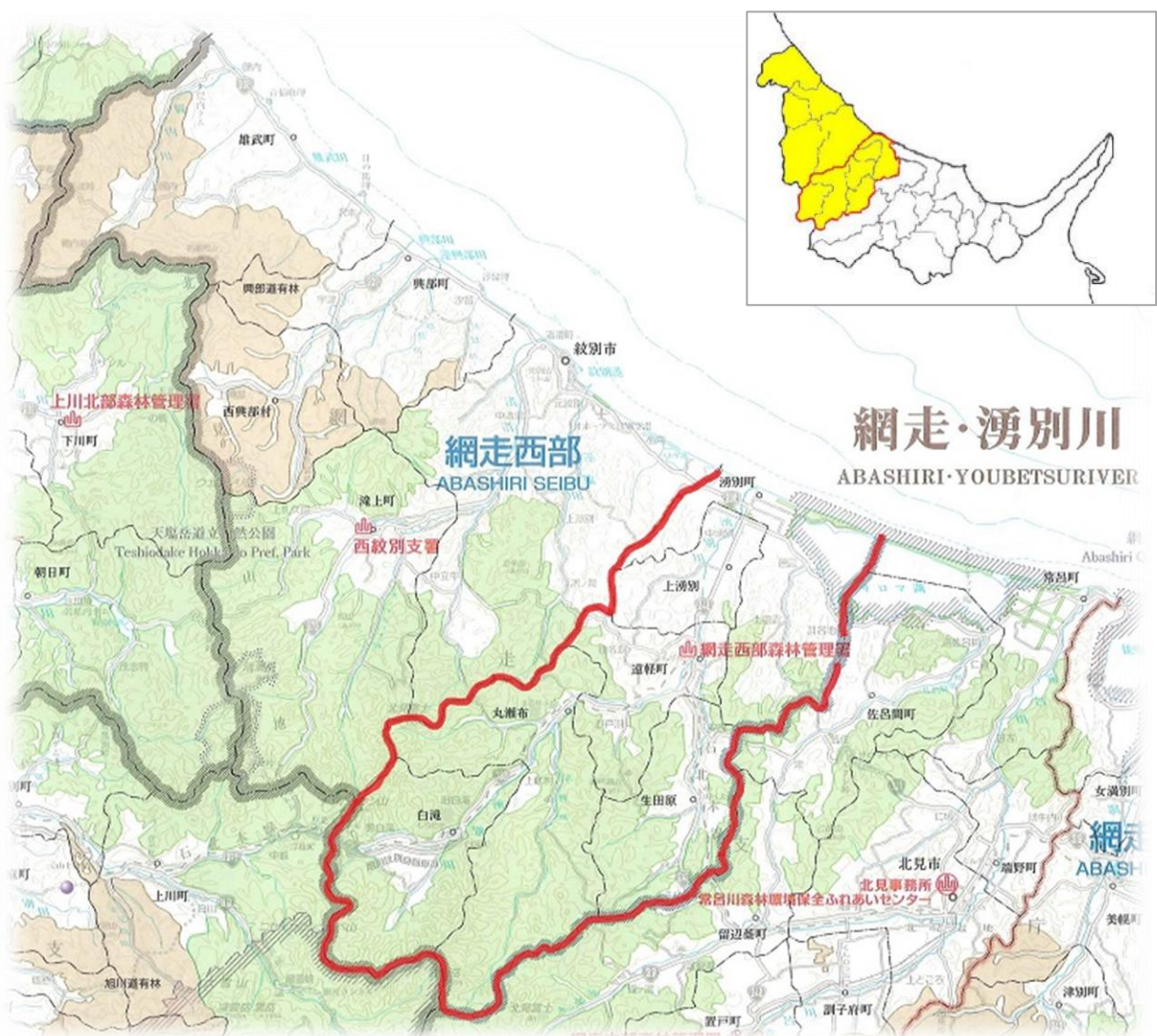
網走西部森林管理署

管理経営の基本は**公益的機能の増進**です

網走西部森林管理署は、網走・湧別川広域流域のうちオホーツク総合振興局管内の主に湧別川流域の遠軽町及び湧別町に所在する約106千haの国有林を管轄しています。

また、管内の森林は、地域の主要河川である湧別川とその支流の武利川や生田原川及び湧別町の芭露川の水源地域となっており、森林面積の約9割が水源涵養や土砂の流出防備等を目的とした保安林に指定されています。

このように、地域の水源として生活用水をはじめ、基幹産業である農業及び水産業の振興、洪水や渇水を緩和し、土砂の流出・崩壊等による山地災害を防止するための森林の整備や保全に対する国民からの期待が高まっていることから、公益的機能の維持増進を図るため、森林の適切な管理・経営に努めています。



機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

国有林では、公益的機能の増進を重視した管理経営を行うため、森林の重視すべき機能に応じて「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」、「水源涵養タイプ」の5つの機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営に努めています。

機能類型区分	森林施業の考え方	面積
山地災害防止タイプ 山地災害の防止や土壌保全の機能を第一とする森林	木の根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	27.6千ha(26%)
自然維持タイプ 原生的な森林生態系や希少な生物が生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育や生息に適した森林の維持	4.6千ha(4%)
森林空間利用タイプ 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持と造成	0.9千ha(1%)
快適環境形成タイプ 騒音や粉塵等から地域の快適な環境を保全する機能の発揮を第一とする森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	—ha(—%)
水源涵養タイプ 良質な水の安定供給など水源の涵養機能の発揮を第一とする森林	広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	73.1千ha(69%)
管内国有林合計面積 106千ha		

令和4年度の取組

林業の成長産業化に向けて

網走西部流域は、森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化を図り地域の活性化に向け、民有林・国有林の林業関係者が一丸となって取り組んでいます。

網走西部森林管理署では、地域での役割を踏まえ次の取組を進めてきました。

○コンテナ苗夏季植栽及びドイツウヒ植栽試験の継続

平成30年度、網走西部森林管理署では網走西部流域での実施例が無かったトドマツのコンテナ苗夏季植栽試験に初めて取り組みました。また、短期間での苗木育成が可能なドイツウヒ植栽試験地も同時に設定しています。

植栽後5年が経過したトドマツの苗木は、生育本数は高水準を維持。成長率も平均苗長及び平均根元径ともに裸苗を上回る結果となり、今後の成長に期待が持てる結果となっています。

その他令和元年にはカラマツ、令和2年にはクリーンラーチの夏季植栽試験にも取り組んでおり、それらと合わせて、今後も継続的にデータを収集することとしています。

コンテナ苗夏季植栽(トドマツ)試験の結果

植栽年月日 平成30年8月10日

裸苗120本、コンテナ苗200本を植栽。うち50本ずつを継続調査

規格	調査本数			平均苗長(cm)			平均根元径(mm)		
	H30	R4	残存率	H30	R4	成長率	H30	R4	成長率
裸苗	50	29	58.0%	41.1	119.0	289.5%	9.3	25.0	268.8%
コンテナ苗	50	46	92.0%	36.7	125.0	340.6%	7.2	25.3	351.4%

○遠軽地区森林整備推進協定の着実な推進

遠軽町、遠軽地区森林組合及び網走西部森林管理署の3者は、民有林・国有林の整備を効率的かつ円滑に進めるための「遠軽地区森林整備推進協定」を令和3年11月1日に締結。

令和4年度は国有林整備(間伐80.96ha、路網整備13,690m)を行っています。また、協定者間での森林資源把握の勉強会や治山工事現場見学会等の意見交換を行ったことで、森林技術の向上が図られました。



国有林側土場の様子



森林資源把握勉強会の様子

公益的機能の維持増進のために さまざまな**取組**を進めています

保安林の整備

土砂の流出、崩壊の防備や水源の涵養が特に求められる森林(管内国有林の約9割)を「保安林」に指定し、良好な森林に整備しています。

これらの保安林内では、災害を防止するため、土砂の流出防止、崩壊地の植生を回復させる「治山事業」を実施しています。



大雨時に流下する流木を捕捉するスリットダム(遠軽町)



崩壊地の復旧を目的とした山腹工事(遠軽町)

森林の整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材を循環的に利用するため、自然条件等を勘案しながら、伐採と植林を繰り返して、良質な木材を持続的、安定的に供給するよう努めています。



下刈を実施し植栽木の生長を促進(湧別町)



循環利用のために集積された木材(遠軽町)

流域を単位に地域と 連携した取組を進めています

流域管理の推進

地域における適切な森林整備や森林・林業・木材産業の活性化を図るためには、所有者が別々に事業や管理を行うのではなく、流域を単位として民有林と国有林が協調しつつ、計画をたてて事業や管理を進めていくことが重要です。

このため、民有林行政を担当する北海道や市町村と連携しながら、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などを進めています。

森林の現況

市町村	区域面積 (km ²)	森林面積(ha)			国有林率 (%)	備 考
		国有林	民有林	計		
遠軽町	1,332.45	98,716	18,487	117,203	84	
湧別町	505.79	6,214	21,571	27,785	22	
計	1,838.24	104,930	40,058	144,988	72	

網走西部森林計画区のうち網走西部森林管理署管内のみ

区域面積は「令和5年北海道統計書」、森林面積は「令和3年度北海道林業統計」による。

森林面積(国有林)は、森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

森林認証の取組

網走西部流域では、平成16年度から地元市町村と林業・林産業界が協力し「緑の循環認証制度(SGEC)」に取組んでいます。網走西部森林管理署では、この取組を支援するため、平成19年12月に「緑の循環認証制度(SGEC)」の森林認証(FM認証)を取得しました。

現在、網走西部流域の森林認証面積は国有林、道有林、市町村ほか合わせて約33万haとなり、全国の認証面積の約16%を占めています。

一方、認証製品の大きな市場である大都市での知名度が低く、長らく出荷量が伸び悩んでいましたが、オリンピック施設において利用されたことから認知度も上がり、今後は出荷量が伸びることが期待されています。



網走西部森林管理署管内の木材は全てFM認証材です。

オホーツク流域の**民有林行政と** **連携した取組**を進めています

民有林と連携した取組

持続的な森林経営は地域経済の発展だけでなく、生物多様性の保全や流域の土壌及び水資源の保全に寄与しており、今後益々重要となっています。

オホーツク流域では森林所有者・行政の垣根を越えた取組を進めており、技術的支援を通じて地域の取組に協力しています。



民有林施業技術交流会を開催(令和4年11月)



遠軽町植樹祭に参加(令和4年10月)

地方公共団体の思いを国有林野経営に・・・

オホーツク地域の森林・林業・木材産業の諸課題に対応していくためには、流域の担い手である市町村との連携が不可欠です。森林管理署においては関係する市町村と「市町村連絡会議」を開催するとともに、北海道森林管理局を中心に「国有林野所在市町村長有志協議会」を開催し、地域との連携を進めています。



市町村連絡会議の様子(令和5年3月)



北見地区国有林野所在市町村長有志協議会(令和4年10月)

「国民の森林」にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

● 地元に愛される国有林を目指して

林野庁では、地域の民間団体や地方公共団体などが国有林を利用し自主的な森林づくり活動や様々な体験活動を計画的に行えるよう、協定（協定締結による国民参加の森林づくり）を結び活動を行っています。

網走西部森林管理署においても、この協定を活用しながら地元の方々が国有林で活動出来るよう積極的に取組むと共に、活動へのサポートやアドバイスをを行っています。

○ 活動名：ひらやま登山道整備及び 高山植物パトロール活動等

遠軽町白滝地区にあるひらやまは、地元はもとより道内外からも多くの登山者が訪れる地元の貴重な観光資源の一つです。

（一社）えんがる観光協会は、快適な登山環境の維持とともに、貴重な高山植物を守り次世代に引き継いでいくことを目的として本協定を締結し、登山道整備及び高山植物パトロール活動を行っています。



ひらやまに咲くコマクサ

○ 活動名：白滝ジオパーク黒曜石 の森

遠軽町白滝地区は日本有数の黒曜石産地であり、その希少性から日本ジオパークにも選ばれています。

白滝ジオパーク推進協議会は、ジオパークの理念に基づき、この貴重な地域遺産を保全するとともに、教育やツーリズムに活用し地域の振興を図ることを目的として本協定を締結し、ジオサイトの環境整備や保全活動を行っています。



黒曜石の露頭（八号の沢）

「国民の森林」にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林に学び森林に遊ぶ

網走西部森林管理署では、地域の皆さんとの共催による森林ふれあい推進事業を通じて、森林・林業の普及活動を進めています。



五感を使って樹木を体験(湧別町芭露学園)



クリスマスリースづくりを体験
(湧別町湧うゆう湧くわく体験塾)

登山ルートのご案内

山岳名	概要説明等
ひらやま	標高は1,775m。毎年6月の第4週日曜日が山開き。 登山コースは、夫婦の滝・行運の滝、冷涼の滝を見ながら登山ができ、山頂からは、大雪山系やニセイカウシュッペ山等の山々が眺望できます。
天狗岳	標高は1,553m。 登山コースは旧北大雪スキー場から往復3時間程度、上級コースになりますがひらやまに縦走することもできます。
薬師山	標高は374m。 登山コースは周回となっており約1時間程度、登山道沿いには霊場八十八ヶ所があります。山頂からは遠くオホーツク海を望むことができます。



ひらやまのコルからニセイカウシュッペ山を望む



コルから天狗山山頂を望む



山頂の薬師堂

令和5年度の取組

地域林業の活性化に向けて

○コンテナ苗の普及に向けて

トドマツ及びカラマツ類のコンテナ苗夏季植栽の優位性について検証を行います。

木材搬出から植栽への作業を連続的に行い再造林コストをトータル的に削減するうえで、従来の裸苗は植栽期間が限られており作業上のネックとなっています。

そこで苗木の山出し期間の延長及び作業期間の平準化が見込まれるコンテナ苗の夏季植栽を平成30年度～令和2年度にかけて行い、春植栽苗と比較し、その優位性について検証を行いました。

令和5年度についても、引き続き成長量の調査等を行い、データの収集に努めます。

○育苗期間短縮苗の植栽試験

低コスト・省力化に向けた取組として、育苗期間短縮苗の植栽試験地を設定します。

緩効性肥料の施肥により育苗期間を2年に短縮したトドマツコンテナ苗(通常育苗に4年程度要)を植栽。また比較のため、育種区や規格等の異なる条件で設定し、活着率や生育状況等の調査を行います。



育苗期間を短縮したトドマツコンテナ苗

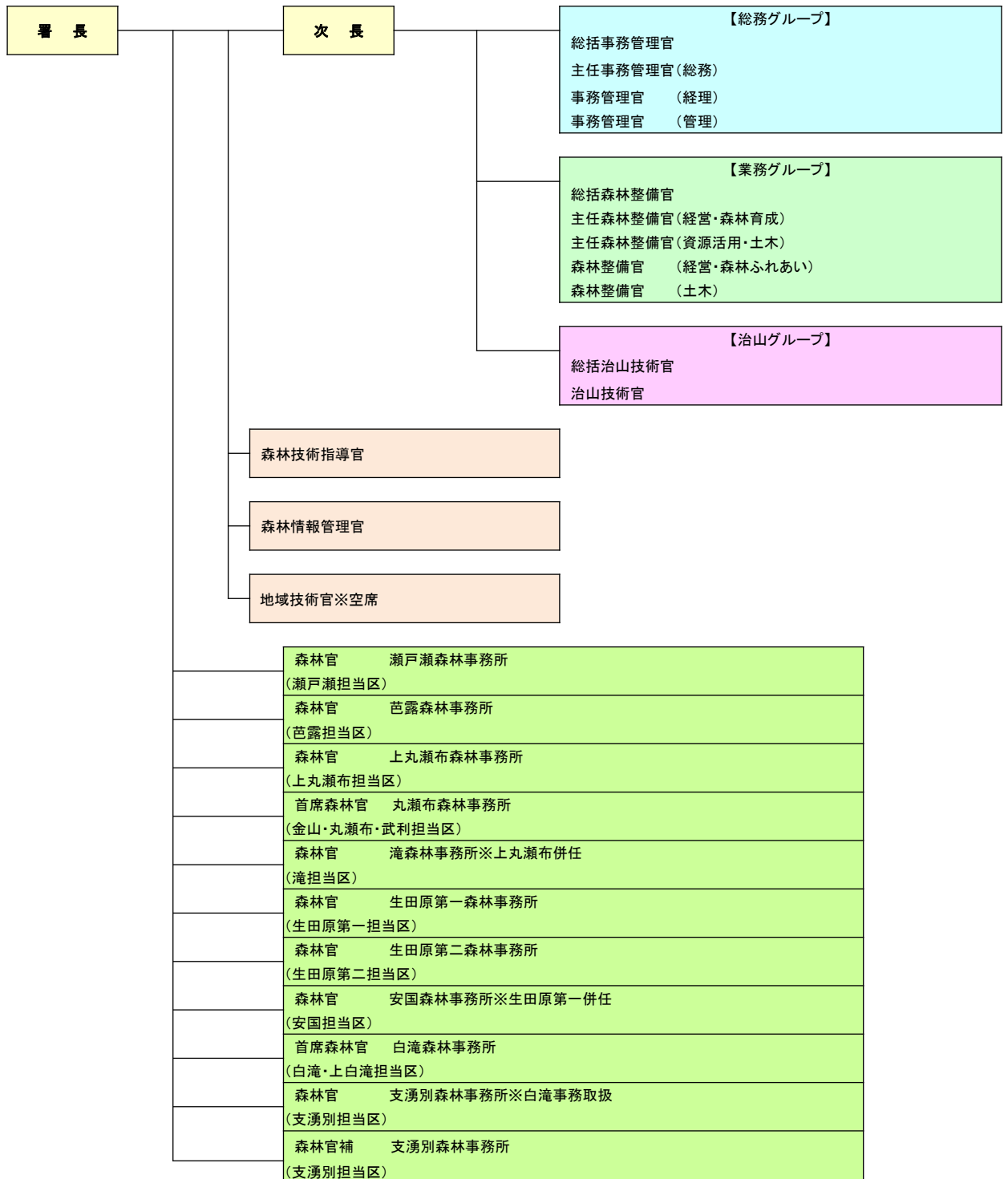
令和5年度 主要事業量

区 分		単位	令和5年度	備 考
販売量	立木販売	m ³	30,900	分収育林含む
	製品販売	m ³	57,000	
造 林	更 新	ha	31.09	
	保 育	ha	216.05	治山費分含む
林 道	新 設	m	1,450	
治山事業		百万円	129	溪間工2基、調査設計2箇所

注1: 造林の更新は、新植、改植の合計である。

注2: 造林の保育は、下刈、つる切、本数調整伐の合計である。

網走西部森林管理署 組織図



令和5年4月1日現在

お問い合わせ・みどりの相談窓口



くらしを育む・国有林

網走西部森林管理署

所在地 〒099-0404

紋別郡遠軽町大通北4丁目1-1

電話:0158-42-2165

IP電話:050-3160-5760

・瀬戸瀬森林事務所

・芭露森林事務所

所在地 〒099-0404 紋別郡遠軽町大通北4丁目1-1

電話:0158-49-2100

・丸瀬布森林事務所(金山・丸瀬布・武利)

・上丸瀬布森林事務所

・滝森林事務所

・白滝森林事務所(白滝・上白滝)

・支湧別森林事務所

所在地 〒099-0206 紋別郡遠軽町丸瀬布水谷町

電話:0158-47-2311

・生田原第一森林事務所

・生田原第二森林事務所

・安国森林事務所

所在地 〒099-0701 紋別郡遠軽町生田原143-3

電話:0158-45-2111



SGEC/31-21-1043



PEFC/31-21-1043